

問い合わせ先

総務部政務課政策評価広報室

海上保安報道官 一條 正浩

03 - 3591 - 9780 (直通)



海上保安庁

平成23年4月14日

## 東日本大震災への対応等について

(第40報) 平成23年4月14日1600現在

(下線部分は第39報からの変更点)

### 1. 対応勢力

東北地方太平洋側投入勢力

船艇	54隻(派遣36隻)
(内訳)	
巡視船	39隻
巡視艇	9隻
航路標識測定船	1隻
測量船	5隻
航空機	19機(派遣16機)
(内訳)	
固定翼機	2機
回転翼機	17機
特殊救難隊	6名
機動救難士	6名
機動防除隊	4名

当初は日本海側も含めて津波警報・注意報が発令されたことから、全管区において船艇航空機を発動したが、津波警報等が解除されたことに伴い、現在は被害の激しい東北地方太平洋側に船艇・航空機を派遣投入して、当該地域での対応に全力をあげている。

### 2. 救助状況

[4月14日1600現在 これまでに当庁が救助した人数 360名]

【東北地方】

《岩手》

- 大槌 3月13日、吉里吉里中学校(上閉伊郡大槌町)に避難した負傷者1名を、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了
- 大槌 3月14日、大槌ふれあい運動公園の負傷者1名を、当庁ヘリにより搬送完了
- 釜石 3月13日、大平中学校負傷者2名を、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了
- 釜石 3月13日、港内孤立者2名を、巡視艇きじかぜにより救助完了

《宮城》

- 塩釜 3月12日、航行不能となった「第三クニ丸」(9名乗船、4名行方不明)の乗船者1名を当庁ヘリにより吊り上げ救助完了(残り4名は僚船に曳航され救助)
- 塩釜 3月12日、塩釜市桂島の傷病者6名を、当庁ヘリにより救助完了
- 石巻 3月12日0832、ヤマニシ造船所にて建造中の船舶「トリパン」(81名乗船)から乗船者全員の救助完了(当庁71名、海上自衛隊10名)
- 石巻 3月12日0928、上記造船所にて建造中の船舶「サイダージョイ」(31名乗船)から全員を当庁ヘリにより吊り上げ救助完了  
なお、ヤマニシ造船所から流出したのは上記2隻のみと確認がとれている
- 石巻 3月12日、雄勝湾の漂流船から2名全員を、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了
- 石巻 3月12日、港内の孤立者62名を、巡視船いすず搭載ゴムボート、石巻監視取締艇により救助完了(一部の孤立者の救助は海上自衛隊と連携)
- 石巻 3月12日、石巻港外の「ブルーライナー」から病気を発症した乗客1名、監視取締艇にて救助完了
- 石巻 3月12日、石巻工業港内絡索船乗員2名、巡視艇しまかぜにより救助完了
- 石巻 3月13日、市内沿岸部における孤立者13名を、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了
- 石巻 3月13日、負傷者1名を当庁ヘリにて吊り上げ救助完了
- 石巻 3月13日、石巻健康センター孤立者1名、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了
- 石巻 3月14日、石巻南中里リコー営業所孤立者9名を、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了
- 石巻 3月16日、石巻市尾崎宮下孤立者1名をヘリにて吊り上げ救助完了
- 仙台 3月11日、仙台市消防ヘリポート孤立者13名を、当庁ヘリにより救助完了
- 仙台 3月12日、仙台市荒浜小学校孤立者21名を、当庁ヘリにより救助完了
- 気仙沼 3月12日、気仙沼港付近のビル屋上に孤立者30名を発見し、当庁ヘリにより全員救助完了
- 気仙沼 3月12日、気仙沼海上保安署に避難した負傷者1名を、当庁ヘリにより

吊り上げ救助完了

気仙沼 3月13日、気仙沼消防からの要請で、巡視艇ささかぜにより大島の重病人1名を搬送、救急車に引き渡し

気仙沼 3月14日、大島から観光棧橋までの傷病者6名、当庁借り上げ船により救助完了

気仙沼 3月14日、気仙沼消防からの要請で、巡視艇ささかぜにより大島の重病人3名を搬送、救急者に引き渡し

気仙沼 3月15日、気仙沼市内の吐血した急患1名、巡視艇ささかぜにより救助完了

気仙沼 3月17日、気仙沼消防からの要請で、巡視艇ささかぜにより大島の重病人1名を搬送、救急者に引き渡し

志津川 3月13日、漂流漁船の乗船者1名を、当庁ヘリが発見し、吊り上げ救助完了

#### 《福島》

相馬沖 3月12日、作業台船「くまの丸」が揚収した1名を、巡視船まつしまにより搬送するも心肺停止

相馬 3月15日、港内で座礁中の「シラミズ」乗船の23名を、当庁ヘリにより吊り上げ救助

相馬 3月16日、港内で座礁中の「パインウェーブ」乗船の23名を、当庁ヘリにより吊り上げ救助

相馬 3月20日、南相馬市立病院に入院中の患者8名を、当庁ヘリにより新潟市民病院まで搬送救助

相馬 3月20日、南相馬市大町病院に入院中の患者9名(ほか付添人2名)を、当庁ヘリにより福島県立医大付属病院まで搬送救助

#### 【その他の地方】

##### 《北海道》

釧路 3月13日、大黒島灯台孤立者5名を当庁ヘリにより吊り上げ救助完了

##### 《千葉》

銚子 3月11日、乗揚船「第三十三開運丸」から1名を、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了

銚子 3月11日、外川転覆プレジャーボート2隻から計3名を、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了

銚子 3月11日、外川転覆漁船1隻から1名を、当庁ヘリにより吊り上げ救助完了

銚子 3月12日、銚子漁港導流堤座礁ヨット1隻から1名を、巡視船かとりにより救助完了

### 3. 対応状況

#### (1) 漂流船等の確認状況

- ・漂流船の生存者等確認調査を実施中。これまでに365隻を確認、全て無人
- ・4月14日1600までに、東北太平洋沿岸において、漂流遺体135体を揚収
- ・4月14日、福島第一原発を中心とする半径10kmから30kmの海域において、巡視船6隻、巡視艇3隻、航空機5機により集中捜索を実施（遺体、漂流船の発見に至らず）

## （2）緊急物資輸送・現場支援

### 【東北地方】

- ・3月12日、第二管区海上保安本部（塩釜市）に避難した住民に対する毛布200枚、非常食（クラッカー240缶）を陸路輸送
- ・3月12日、巡視船えともにより、室蘭港から青森港まで救援物資（飲料水2×3000本、おにぎり5000個、パン5000個；北海道提供）を搬送
- ・3月13日、本庁対策本部に「緊急輸送対応班」を設置し、対外調整等を実施
- ・3月13日、八戸港沖の入港待機漁船に対し、食料等支援物資を供与
- ・3月13日、岩手県尾崎白浜の孤立した被災者に対し、発電機用燃料を供与
- ・3月14日、巡視船の現場派遣にあわせ、神奈川県から岩手県への食料等の救援物資（合計780kg）の搬送を実施
- ・3月14日、巡視船の現場派遣にあわせ、釜石、宮古市への救援物資（毛布100枚等）の搬送
- ・3月15日、江島（宮城県牡鹿半島沖）の孤立者5名に対し、当庁ヘリにより飲料水（500ml×384本）を供与
- ・3月18日、釜石港にて、給水車9台等に対し、巡視船すずか搭載の清水約8トン、ガソリン6缶（120）を供与
- ・3月18日、釜石港にて、岩手県振興局手配のトラックに対し、巡視船みうら搭載の救援物資（空ポリタンク50個、バナナ80本入り4箱、りんご38個入り16箱、カップ麺600個等）を供与
- ・3月19日、仙台塩釜港（仙台区）にて、宮城県に対し、巡視船みうら搭載の救援物資（補給水タンク2個、リヤカー20台、簡易ベッド50台、移動式発電機5台、軽油20×5缶、ガソリン20×5缶、毛布300枚）を供与
- ・3月20日、仙台塩釜港（仙台区）にて積載した救援物資を、当庁ヘリにより宮城県雄勝町及び南三陸町に搬送
- ・3月21日、釜石港にて、岩手県大槌町（陸上自衛隊経由）に対し、仙台塩釜港（仙台区）で積載した救援物資（菓子、カップ麺10箱等）を供与
- ・3月21日、釜石港にて、釜石市民34名に対し、巡視船2隻による入浴支援を実施
- ・3月22日、釜石港にて、釜石市民16名に対し、巡視船やひこによる入浴支援を実施

- ・ 3月22日、小名浜港において、福島県に対し、巡視船あまぎ搭載の軽油40kを供与
- ・ 3月23日、岩手県職員による釜石付近被害状況調査に対する業務協力(航空機同乗)
- ・ 3月13日～28日、大島～気仙沼港間において、巡視艇により自衛官、消防士、島民等延べ319名及び被災者向け物資の輸送を実施
- ・ 3月28日、岩手県大船渡市合足地区被災者に対して、災害支援車両に燃料を供与
- ・ 3月30日、巡視船ちくぜんにより博多港から釜石港へ救援物資(食料、日用品等約4.5トン;一般企業提供)を搬送
- ・ 4月2日～6日、釜石港にて、DMAT職員延べ56名に対し、巡視船による宿泊支援を実施
- ・ 4月4日、釜石港にて、釜石市民28名に対し、巡視船ちくぜんによる入浴支援を実施
- ・ 4月5日、釜石港にて、釜石市民39名に対し、巡視船ちくぜんによる入浴支援を実施
- ・ 4月6日、宮城県霞の目飛行場にて、宮城県に対し、巡視船及び航空機による支援物資(サーマルバッグ900枚等)の搬送を実施
- ・ 4月7日、青森空港にて、青森県に対し、巡視船及び航空機による支援物資(サーマルバッグ300枚等)の搬送を実施
- ・ 4月7日、釜石港にて、岩手県に対し、巡視船及び航空機による支援物資(サーマルバッグ300枚等)の搬送を実施
- ・ 4月8日、羽田空港から仙台空港まで、航空機により宮城県知事等の輸送を実施
- ・ 4月14日、仙台塩釜港(塩釜区)において、宮城県に対し、巡視船による支援物資(身体保護・緊急搬送用マット600枚)の搬送を実施

#### 【その他の地方】

- ・ 3月15日、茨城県大洗港着岸中の巡視船しれところによる給水作業(約18トン)
- ・ 3月18日、茨城県大洗港にて、給水車15台に対し、巡視船しれところ搭載の清水約35トンを供与
- ・ 3月19日、大洗港にて、大洗町等に対し、巡視船しれところ搭載の清水約10.5トンを供与

### (3) 輸送路の確保

#### 水路測量の実施状況

#### 【東北地方】

- ・ 3月14日、釜石港において測量船「海洋」により、港内の一部について、水路測量実施

- ・ 3月15日、宮古、釜石、仙台塩釜港（仙台区）において、測量船3隻による港内の水路測量等実施
- ・ 3月16日、八戸、宮古、仙台塩釜港（仙台区）において、測量船4隻による港内の水路測量等実施
- ・ 3月17日、八戸、仙台塩釜港（仙台区、塩釜区）において、測量船4隻による港内の水路測量等実施
- ・ 3月18日、八戸、仙台塩釜港（塩釜区）において、測量船2隻による港内の水路測量等実施
- ・ 3月19日、久慈、仙台塩釜港（塩釜区）において、測量船2隻による港内の水路測量等実施
- ・ 3月20日、仙台塩釜港（仙台区）、大船渡港において、測量船2隻による港内の水路測量等実施
- ・ 3月21日、仙台塩釜港（塩釜区）、大船渡港において、測量船2隻による港内の水路測量等実施
- ・ 3月22日、大船渡港、気仙沼港において、測量船2隻による港内の水路測量等実施
- ・ 3月23日、気仙沼港、石巻港において、測量船3隻による港内の水路測量等実施
- ・ 3月24日、気仙沼港、石巻港において、測量船2隻による港内の水路測量等実施
- ・ 3月25日、相馬港において、測量船「天洋」による港内一部の水路測量実施
- ・ 3月26日、小名浜港において、測量船「明洋」による港内一部の水路測量実施
- ・ 3月27日、小名浜港において、測量船「明洋」による港内一部の水路測量実施
- ・ 4月 3日～5日、仙台塩釜港（仙台区）において、測量船「海洋」による港内一部の水路測量実施
- ・ 4月 9日～11日、仙台塩釜港（仙台区・塩釜区）において測量船「明洋」による港内一部の水路測量実施
- ・ 4月 9日～12日、釜石港において測量船「昭洋」による港内一部の水路測量実施

#### 港湾の供用状況

##### 【東北地方】

- ・ 3月15日、釜石港一部供用開始（3月29日一部追加供用）
- ・ 3月16日、小名浜港一部供用開始（3月28日、4月1日一部追加供用）
- ・ 3月17日、宮古港一部供用開始
- ・ 3月18日、仙台塩釜港（仙台区）一部供用開始（4月8日一部追加供用）
- ・ 3月19日、八戸港一部供用開始（4月10日一部追加供用）
- ・ 3月19日、相馬港一部供用開始
- ・ 3月20日、久慈港一部供用開始（4月4日一部追加供用）
- ・ 3月21日、仙台塩釜港（塩釜区）一部供用開始（3月25日喫水制限解除、

4月1日、12日一部追加供用)

- ・ 3月22日、大船渡港一部供用開始(3月29日、4月4日一部追加供用)
- ・ 3月23日、石巻港一部供用開始(3月27日、4月1日一部追加供用)
- ・ 3月26日、気仙沼港一部供用開始(3月30日一部追加供用)

【その他の地方】

- ・ 3月15日、常陸那珂港一部供用開始
- ・ 3月18日、鹿島港一部供用開始
- ・ 3月20日、日立港一部供用開始
- ・ 3月24日、大洗港一部供用開始

航路標識の応急復旧状況

【東北地方】

- ・ 青森県(八戸保安部) 5基復旧済み
- ・ 岩手県(釜石保安部) 7基復旧済み
- ・ 宮城県(宮城保安部) 41基復旧済み
- ・ 福島県(福島保安部) 4基復旧済み

【その他の地方】

- ・ 22基復旧済み

その他

- ・ 3月15日、国土地理院と窓口を設定し、同院所属航空機からの情報提供体制を  
確立

(4) 航行安全

- ・ 福島原発に関する航行警報発出
- ・ 福島第一原発に係る避難指示(20km)、屋内退避(30km)及び福島第二  
原発に係る避難指示(10km)を受け、巡視船(特殊救難隊、機動防除隊同乗)  
により同周辺海域において監視警戒中
- ・ 航路標識、航路障害物等に関する航行警報
- ・ 航路標識の被害状況調査を実施中(夜間の視認調査を含む)
- ・ 5港で船舶の航行制限等を実施中
- ・ 無人漂流船を曳航処理するため関係機関と連携して作業中  
巡視船により漂流船49隻を曳航完了、2隻を曳航中
- ・ 3月21日、仙台塩釜港(塩釜区)において、軽油等を搭載したタンカー「鶴宏  
丸」の入港警戒を巡視艇、航空機により実施
- ・ 4月3日、塩釜漁港、小名浜漁港において、漁網等航路障害物の調査及び関係機  
関に情報提供実施
- ・ 4月4日、八戸漁港、蛸の浜漁港、気仙沼漁港、石巻漁港、において、漁網等航  
路障害物の調査及び関係機関に情報提供実施
- ・ 4月5日、釜石漁港、松川浦漁港、松ヶ浜漁港において、漁網等航路障害物の調  
査及び関係機関に情報提供実施

(5) 防災関係

- ・ 3月11日～12日、千葉コスモ石油LPGタンク火災に対し、当庁消防船等及び海上災害防止センター所属船により消火活動実施
- ・ 3月17日、仙台塩釜港(仙台区)全農タンクからのガソリン漏油事故に対し、巡視艇により海上のガス検知作業を実施。異状を認めず。

4. 当庁の被害状況

(1) 巡視船艇

二管区 宮城 PLくりこま(4月10日、座礁していた松島湾から塩釜港に移動、浸水や外部への油漏れなし。11日函館どつく(室蘭)向け曳航を開始。13日函館どつく到着)

(2) 航空機

仙台基地 固定翼1機流出、固定翼1機及び回転翼2機が浸水

宮城分校 回転翼1機浸水

整備工場(ジャムコ、仙台市) 回転翼1機が転倒及び浸水、固定翼1機及び回転翼1機が浸水

(3) 施設関係

庁舎

二管本部、宮城：5階、6階及び7階の内部壁に亀裂あり

釜石：4月12日、仮庁舎移転完了

宮古、気仙沼、石巻、仙台基地：基地機能不能

一管区、三管区内においても損傷等を受けた施設あり

航路標識等

倒壊、傾斜 46基

消灯 17基

移動、流出 6基

欠射 1基

通信施設

情報通信関連機器損傷26件(内18件については、代替品・予備品を手配するなどにより機能を一部回復)